



新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止のための活動報告No.16

新型コロナウイルスとの闘いは、夏が終わろうとするこの時期になっても続いています。婦人会では、新型コロナウイルス感染症感染防止のためにさまざまな取り組みを行っています。そこで、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介いたします。

＜山形県結核成人病予防婦人団体連絡協議会＞

構成団体の一つである山形県婦人連盟では、山形県庁から県民に広く呼びかけられた「県民総活躍で愛のマスク運動」に賛同して、マスクを寄贈しました。

この運動では、就学前の子どもたちに手作りマスクを作製することを目的に広く県民に呼びかけられました（資料1）。

2,200枚のマスクを作製したことから、県民を代表して5月29日に山形県婦人連盟の五十嵐雪子会長、秋葉惇子副会長、板垣致江子副会長が吉村知事にマスクを手渡しました（資料2）。

「県民総活躍で愛のマスク運動」に参加しませんか？

県では、就学前の子どもたちのために手作り布マスクを作製する「県民総活躍で愛のマスク運動」へ参加いただける県内の個人・団体の方を募集しています。ぜひ皆さまの善意をお寄せください。

◆運動の流れ

- ①運動へ参加いただける個人・団体の方は、「◆布マスクの作製方法」を参考に、布マスクを作製してください。
※布やゴム紐等が必要な場合は、裏面の「材料申込書」にご記入の上、チラシ下部に記載の「お問合せ先」へ郵送又はFAXでお送りください。
- ②作製した布マスクを裏面の送付先のいずれかへお送りください。
- ③お送りいただいた布マスクは、県から県内児童施設等に寄贈して活用させていただきます。

◆布マスクの作製方法

方法及び材料

- ◆お持ちの材料で作製される場合
子どもの顔に触れることを想定して、清潔な生地をお使いください。個数はいつでも構いません。
- ◆お手元に材料がない場合
布やゴム紐、糸を提供いたします。裏面の「材料申込書」で希望枚数をお知らせください。提供する布の大きさは、1枚あたり1.22m×1m程度（子ども用マスク約20個分）です。

大きさの目安

7.5cm×11cm程度（就学前の子ども用ですので、大人用よりも小さくなります）。形状、作り方は自由です（平型、プリーツ型、立体型など）。

注意点

新型コロナウイルス感染症への対策を行ってください。
・作業の前に手洗いを行う
・複数人で集まって作業をしないようにする など

お問合せ先
山形県 防災くらし安心部 消費生活・地域安全課
県民活動・防災ボランティア支援課
〒990-8570 山形市松波2-8-1
電話：023-630-2122・3157 FAX：023-625-8186

プレスリリース

令和2年5月28日
防災くらし安心部
子育て若者応援課

報道機関各位

「愛のマスク」寄贈について

県民に広く参加を呼びかけ、「県民総活躍で愛のマスク運動」を実施したところ、心のこもった手作りマスクが多数届きました。参加者を代表して、最も多くのマスクを作製いただいた山形県婦人連盟から、子ども用マスクを寄贈いただきます。つきましては、下記について、周知いただきますようお願いいたします。

記

1 日時	令和2年5月29日(金) 9:45～10:00
2 場所	知事室
3 来訪者	山形県婦人連盟 会長 五十嵐 雪子氏 副会長 秋葉 惇子氏 副会長 板垣 致江子氏
4 内容	「県民総活躍で愛のマスク運動」参加者を代表して、最も多くのマスクを作製いただいた山形県婦人連盟から、子ども用のマスクを寄贈いただくものです。
5 活用方法	市町村を通して、保育所、認定子ども園、届け出保育施設などの就学前児童施設等に配布することとしております。

※マスク寄贈状況：約8,700枚
活動参加者：17団体・212人
(5月22日現在)

【問い合わせ先】
＜運動の呼びかけについて＞
防災くらし安心部消費生活・地域安全課
室長補佐 鏡 (TEL 023-630-3238)
【報道窓口】
防災くらし安心部次長 林
＜マスクの配布について＞
子育て若者応援課子育て支援課
課長補佐 川井 (TEL 023-630-2117)
【報道窓口】
子育て若者応援課次長 奥山

資料2 山形県のホームページに寄贈について掲載

資料1 「県民総活躍で愛のマスク運動」のチラシ（片面のみ）

<https://www.pref.yamagata.jp/pickup/interview/pressrelease/2020/05/28113703/>